

幹事会附置委員会の設置について

委員会名：学術の観点から科学技術基本計画のあり方を考える委員会

1	委員の構成	会長、副会長、各部の役員2名及び会員又は連携会員若干名
2	設置目的	現行の科学技術基本計画（第4期）は平成23年度～平成27年度を計画期間としている。その中では、科学技術分野全般の施策のあり方を論ずるとともに、重点を置くべき分野を取り上げて、我が国の科学技術政策の進むべき方向を示している。同時に、基礎的研究や人材育成といった、科学技術の基盤を支えるべき領域についてもその重要性を指摘している。計画期間のゴールに差し掛かってきたため、第5期の計画作成に向けた審議が、総合科学技術会議を中心に行われる見通しとなっている。科学技術政策と、学術振興の密接不可分の関係に鑑みて、日本学術会議が第5期科学技術基本計画の作成に対応して、学術の観点から意見を述べることは「科学に関する重要事項を審議し、その実現を図ること」というその職務を遂行する上で重要である。本委員会では、このような認識から、以下の諸点に関する審議を行い、適切な時期に成果を発表する。 ①学術の振興の観点から見た第5期科学技術基本計画のあり方について ②第5期科学技術基本計画が示すべき基礎研究や人材育成のあり方について ③その他学術の振興の観点から科学技術基本計画が含むべき事項について
3	審議事項	学術の振興の観点から見た第5期科学技術基本計画のあり方等に関する事
4	設置期間	時限設置 平成26年10月3日～平成28年4月30日 常設
5	備考	※新規設置